

第 8 回森和英記念計算科学研究会報告

第 8 回森和英記念計算科学研究会

The Eighth Memorial Workshop of Kazuhide Mori on Computational Science

世話人 永井喜則

国土館大学・全学教養教育運営センター・情報科学部会，経営学部

森先生の考えに従えば、コンピュータを使って目的の仕事をしていれば計算科学ということになる。今回はつくば大学の名誉教授になられた金野先生が研究会に来て話をされたので気分が刷新されたと考えられる。金野先生に対して計算科学に関する森先生の考え方を照会した。金野先生は戸次先生から誘われて来て頂いた。筋肉，特に心臓に関わる研究を多くの方がしており，それに関する話が多かった。梅崎先生の話で国土館大学に専任教員として赴任された小田井先生の都合で研究会の最後にもってきた。

—研究会プログラム—

第 8 回森和英記念計算科学研究会

日時 2016年12月17日 土曜日

場所 国土館大学・中央図書館 6F 端末室 1

- 12 : 20–12 : 50 永井喜則 (国土館大学・経営学部及全学教養教育運営センター情報科学部会)
Y. Nagai, S. Hyde, and H. Wako
「Mechanical Description of Dynein Movement」
- 13 : 00–13 : 40 金野秀敏 (つくば大学・名誉教授)
「複雑系を記述する同一分布を与える 3 種のベータ過程について」
- 13 : 50–14 : 30 新谷正嶺 (東京大学・理学系研究科)
「温めた心筋細胞に備わった収縮リズムの周期安定化の仕組みについて」
- 14 : 30–14 : 40 休憩
- 14 : 40–15 : 20 鷲尾 巧 (東京大学大学院・新領域創成科学研究科)
「心筋の連続体力学モデル」
- 15 : 30–16 : 10 戸次直明 (早稲田大学・理工学部)
「心臓壁に対する非線形波動モデルを目指して」
- 16 : 20–17 : 00 梅崎馨章 (国土館大学・非常勤講師)
「射影演算子による発光分子からの自然放出の定式化」
- 17 : 10– 懇親会 (6F 事務室内 会議室)